



〈会員の窓 13〉

淀川愛好会の発足から現在まで

第四代*会長 頭井 洋

20年近く前になるとと思いますが、淀川を中心とした地域活動を推進する会の設立構想を澤井先生が描いていることを故矢村先生から初めてお聞きしました。会員は学科内の教員や学生だけでなく、摂南大学全体に参加を呼び掛け、学外にも広げていきたい、学科の同僚教員として協力したいという趣旨でした。洪水時の氾濫を避けるため、大量の雨水を効率よく流出することのみ主眼をおいた河川整備が、生物の生息空間を奪い、川辺から地域住民を遠ざけた反省から、できるだけ自然な川の特性を活かす河川整備に向かい動き出した時期でした。澤井先生からも、これまで川の流れの力学的研究にのみ精力を注いできたことへの反省と地域貢献への抱負をお聞きしました。地域連携センターの支援があり地域貢献が当然になっている現在とは違い、学外まで輪を広げる活動には理解が乏しい時代でした。発足に至るまでかなりの苦労があったと思いますが、澤井先生のひたむきな熱意と努力により、翌年には淀川愛好会が発足しました。C科の教員は全員が会員になったはずですが、当初は、大学周辺の河川の清掃活動や春秋の淀川源流や支流、ダム予定地などの見学会が活動の中心でした。数年後には活動の成果が認められ、外部予算を獲得してEボート2台を導入されたこともあり活動の幅がひろがり、春夏秋のイベント、ホテル観賞会、討論会の現在の活動が定着しました。エコシビル部の協力による地道な河川の清掃活動、学内外のビオトープ開設と維持管理を初め、各地の水辺クラブとの共同開催のイベントなど本学の地域活動の主要な柱に成長したと思います。寝屋川駅前の寝屋川護岸の親水施設への改修事業への貢献は特に大きな成果に上げられます。会長を務めた2年間を除き、春夏秋のイベントに行楽をかねてたまに参加するだけの不熱心な会員ですが、本会の更なる発展を期待しています。



整備前



整備後

寝屋川市駅前親水空間整備

*2003～2006年度（摂南大学理工学部 都市環境工学科教授 構造力学・耐震工学）

イベント案内

淀川愛好会 秋のイベント

大和川源流探訪第4回 布留川流域で学ぼう

ホテル護岸や甍ったイチョウ並木など、自然豊かな布留川の源流を探訪し、天理市内で活動する市民団体と交流することにより、大和川の生態系や歴史などを学習します。

主催：大和川市民ネットワーク

共催：NPO法人 環境市民ネットワーク天理

協力：手作り工房「木の子村」

日時：11月17日(土) 10時～16時

集合：8:30 摂南大学 または 10:00 天理駅(近鉄・JR)前

(詳細は4ページをご覧ください)



イベント報告

川勝水辺ひろば完成式典

6月15日(土)に川勝町親水護岸工事完成イベントが川勝町で行われました。

開会式では、親水護岸完成に至るまでの経緯を枚方土木事務所長の岡村さんに説明してもらいました。引き続き、寝屋川市長の馬場さんや寝屋川市議会の梶本さん、川勝町自治会の荻野さんに来賓祝辞をいただきました。その後、施設紹介やテープカットを行い、元ねやがわ水辺クラブ事務局長の松浦木遊さんに制作していただいた銘板の除幕を行いました。

式典終了後は、船乗り体験や投網を行い、子どもたちに楽しんでもらいました。

式典の後に発生した降雨により、完成した護岸が削れ河道が変化しましたが、今後維持管理を考える上で、水辺ひろばの修繕についても考える必要があると思いました。



銘板の除幕式

AQUA SOCIAL FES!! 2013

花川干潟でしじみ探しとEボート体験

7月6日(土)に大阪市西淀川区花川地区の淀川河川敷で、西淀自然文化協会主催のAQUA SOCIAL FES!!2013が行われました。参加者は約100人で生き物調査や外来植物の駆除、Eボート乗船等を行いました。生き物調査では、淀川でシジミが獲れることに驚きました。Eボート乗船では、河口付近ということで潮汐の影響を受け、ボートが座礁し破れるアクシデントにみまわれ、今後このような河口付近で行う場合には、潮汐のことも考えて計画を立てることが大切だと学びました。



花川干潟での乗船体験の様子

近畿水環境交流会 in 由良川・福知山

7月27日(土)・28日(日)に京都府福知山市で近畿水環境交流会 in 由良川・福知山を開催しました。

1日目の午前は見学会を行い、観光ガイドの案内で福知山城と福知山市治水記念館を見学しました。

午後は福知山市厚生会館でシンポジウムを行い、川合茂氏(舞鶴工業高等専門学校名誉教授)に「由良川の治水と環境」、崎山正人氏(福知山市まちづくり推進課課長)に「由良川の歴史と文化」を講演していただきました。そして各参加団体(由良川流域ネットワーク、ウォーターステーション琵琶の会、やましろ里山の会、桂川流域ネットワーク、淀川愛好会・摂南大学澤井ゼミ、摂南大学石田ゼミ・エコシビル部・PBLプロジェクト、大和川市民ネットワーク、武庫川流域圏ネットワーク、紀ノ川環境を守る会、近畿子どもの水辺ネットワーク、福知山環境会議)からの活動の紹介がありました。シンポジウム後、たかた荘で懇親会を行いました。

2日目の午前是由良川音無瀬橋下流左岸河川敷で河岸清掃と水辺利用の実践(生物・水質調査、クイズ、スケッチ、距離測定)を行いました。

午後のEボートレースはタイムアタックで、10チームが優勝を目指して熱いレースを繰り広げました。結果は、1位 摂南大学澤井ゼミ・淀川愛好会、2位 摂南大学OB、3位 大阪・兵庫チームとなりました。

なお、半月後の8月15日(木)に、同じこの河川敷で花火大会が行われた際に爆発事故がありました。お見舞い申し上げます。



塩見日出勝氏(由良川流域ネットワーク)による鮭の再生を願う紙芝居



閉会式後の集合写真

天若湖アートプロジェクト

8月3日(土)・4日(日)に京都府南丹市の日吉ダムで開催しました。スプリングスひよしで芸術家による蝶のペーパークラフトや日吉ダムの歴史的写真の展示、鮎ねぶたを作るワークショップなどを行いました。メインプログラムの「あかりがつなぐ記憶」では、ダム湖である天若湖の湖面にあかりを浮かべ、水没した集落を再現しました。

雨にみまわれることもありましたが、新たにあかり観覧会場でカフェを開いた結果、あかりの幻想的な空間を来場者に楽しんでもらえました。

また、エコシビル部は桂川でEボート乗船体験とストーンペインティングのワークショップを行いました。市民の方も参加され、水辺での遊びを堪能することができました。



スプリングスひよしでの
鮎ねぶた作り

寝屋川再生ワークショップ

8月4日(日)・29日(木)に開催された寝屋川再生ワークショップに参加しました。

4日のワークショップでは整備候補地の二十箇水路と友呂岐水路合流点の現地見学を行い、不法耕作や道幅の狭さの問題等を確認しました。

29日は、整備案を見ながら、4日の現地見学で見つかった問題点について、改善策を検討しました。防災面や利便性の面を考慮した整備を行ってほしいなど、地元の方の声も取り入れた討論が行われました。

次のワークショップは9月27日(金)に行われる予定です。



各班での意見交換の様子

第4回 幸町公園水辺の集い

8月31日(土)に寝屋川市の幸町公園で開催しました。参加者は約70名(事前参加申し込み28名を含む)あり、植生観察の後に、生物調査、カヌー乗船体験、バーベキュー等を行いました。今回は、植生観察をイベントの一部に加え、ねや川水辺クラブの矢吹さんから幸町公園に生息する27種類の植物のうちアレチウリやセイバンモロコシなどの外来種の流入の歴史などについて詳しくご説明頂き、子供達も非常に興味深く植物の観察を行っていました。



ねや川水辺クラブ矢吹さん
による植生観察会の様子

第6回 大和川の日 市民の集い

9月7日(土)に堺市浅香で大和川市民ネットワーク主催の「大和川の日」市民のつどいが行われました。全体の参加者は約130人で、初めて大和川河川事務所堺出張所の防災情報センターで与謝野晶子の歌碑目録の贈呈式が行われ、次に浅香山緑道で歌碑の除幕式を行いました。

歌碑は、与謝野晶子の母校・泉陽高校そばの石覚石材本山さんが炎暑のもとで完成された作品です。その後、子供は水辺の学校エリアでEボート乗船と生物調査を行い、大人は再び防災センターに戻り、大和川の今と未来を語り合いました。あいにく途中から小雨が降ってきましたが、大和川への熱い思いを参加者から聞くことができ、大変良かったです。



大和川を歌った与謝野晶子歌碑

例年がない悪天候による、イベントの中止

今年は例年に比べ、天候が安定せず、8月10日(土)・11日(日)に淀川三川ふれあい交流七夕まつりで予定されていたEボート乗船や、8月25日(日)の淀川まるごと体験会、9月1日(日)の日野川水辺フェスティバル、9月15日(土)・16日(月)木津川カヌーの日など、予定していたイベントがいくつも中止となりました。

淀川愛好会 秋のイベント

大和川源流探訪第4回 布留川流域で学ぼう

主催：大和川市民ネットワーク

見学コース：天理駅前→丹波小学校前→天理市役所前

日時：11月17日(土) 10時～16時

→黒門前→石上神宮→「木の子村」自然農場

集合：8:30 摂南大学 または

→「源流の森」→「木の子村」→桃尾の滝

10:00 天理駅(近鉄・JR)前

→天理駅前(16時解散)→摂南大学(17時解散)

持ち物：弁当、飲み物、箸、お椀(豚汁のサービスあり)

申込先：淀川愛好会事務局

参加費：500円

参加申込〆切：11月2日(土) 定員25名

〈会員の窓 14〉

私の道しるべ

水野 慎也

2012年の夏、私は摂南大学エコシビル部に入部し、同年の秋に部長に就任しました。私がエコシビル部部長に就任して1年という節目もいよいよという時期になりました。そもそも私は特にエコシビル部という部活に興味があって入部したわけではなく、ただ単純に『誘われたから』といういい加減な理由で入部しました。そのような部員であった4月～6月の間はほとんど活動には参加していませんでした。そんな幽霊部員予備軍のようだった私が積極的に活動に参加するようになったのは《木津川Eボート》と《池の里自然教室》という2つの活動によって私の世界が広がったからだだと思います。《木津川Eボート》では川で遊ぶことの楽しさと怖さ、先輩方や後輩たちとつながりを持つことの素晴らしさを、《池の里自然教室》では自然教室というものがあること自体を知れた上に、そこで見た光景のすべてが新鮮で、かつ『自分のやりたいことはこれだ!』という直感を感じることができました。私はこれらの活動との出会いによって諦めていた小学校教師になることをもう一度目指そうと思いました。エコシビル部は私にとって一度は挫折し諦めた道をもう一度志すきっかけをつくってくれた大切な道しるべです。これからもこの部に出会えた事に感謝し、成長していきたいと思っています。

(摂南大学理工学部 生命科学科 3回生)

会員募集・寄稿のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。

編集後記

会報作りで重要なことは、初めから終わりまで読み通していただくために、会の活動や催事に関する情報や結果の報告をどのような形で提供すると、読者を紙面に釘づけにできるのか、に懸かっています。編集するとき私たちは、掲載すべき情報や報告をできるだけ漏れなく取り上げ、目玉的なことも含めてそれらを具体的に、かつ簡潔にまとめるように努めています。

記事の多くは、おもに理工学部の澤井研および石田研のゼミ生、そしてエコシビル部の学生たちの執筆によるものです。学業に勤しむためには、余るはずもない貴重な時間を割いて協力してくれている彼らに心から厚く感謝します。

なお、会報のさらなる充実に向けて、皆さまの忌憚のないご意見やご要望をお寄せ頂ければと思っています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集長 相本太刀夫 (元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 澤井教授室内

TEL/FAX：072-839-9124 携帯電話：090-2196-9594 (澤井)

HP：<http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail：sawai@civ.setsunan.ac.jp (澤井) または 101068my@edu.setsunan.ac.jp (森川)